

サーモ継手

..... U11-22X3

施工・取扱説明書

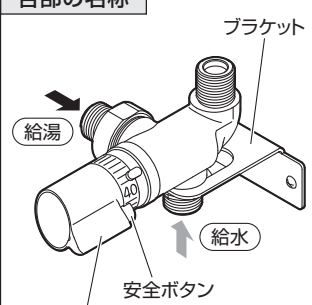
- 施工・ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工・ご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出いただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本製品について

各部の名称・寸法図

●本製品は、サーモスタットの働きで温度を一定に保つ継手です。

各部の名称



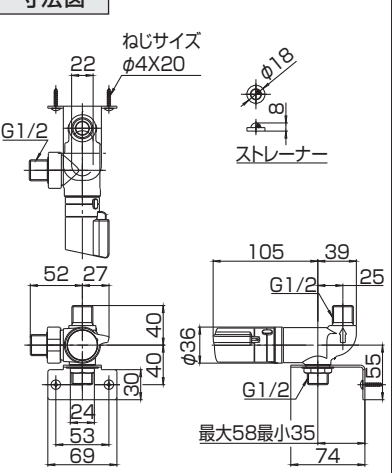
給湯

給水

安全ボタン

温度調節ハンドル：
温度調節ができます。
高温にしたい時は安全ボタンを押して回します。

寸法図



ねじサイズ
φ4X20

φ18

8

ストレーナー

52 27

105 39

25

61/2

24 53 69

140 40

30

最大58最小35

74

本製品について

施工・ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、重大な結果（傷害・物損）に結びつくおそれがあります。安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

⚠ 警告

.....「取扱いを誤った場合に、死亡または重症を負うおそれがあります。」

⚠ 注意

.....「取扱いを誤った場合に、軽傷または物損のおそれがあります。」

🚫 「禁止」

🚫 「分解禁止」

❗ 「指示を守る」

施工に関する安全上のご注意

⚠ 警告

🚫

修理技術者以外の人は、製品内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

🚫

同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

🚫

湯水を逆に配管しないでください。
正常に作動しないため、やけどをする事があります。

🚫

給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。
85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

❗

ストレーナの掃除をする際は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

❗

目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。
使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、やけどをすることがあります。

⚠ 注意

- 🚫 製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。

⚠ 注意

🚫

凍結が予想される場所には、取付けないでください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

🚫

湯側にブラケットを取付けないでください。
故障や水漏れの原因になります。

ご使用に関する安全上のご注意

⚠ 警告

- ❗ 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。
- 🚫 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ❗ (給湯器の設定温度について)
給湯温度は最高85℃まででお使いください。
85℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。
なお、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。
- ❗ 温度調節ハンドルの温度位置を確かめて吐水してください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
- ❗ 高温の湯をお使いの後は必ず温度を40℃以下に戻してください。
次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
- ❗ ストレーナの掃除をする際は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注意

- 🚫 製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。
- ❗ 凍結のおそれがある場合は、凍結予防を確実に実施してください。
(参照:「ご使用について」凍結予防)
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ❗ 温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。
温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇し、やけどをするおそれがあります。
- 🚫 解水機やアースを製品に通電しないでください。
製品が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ❗ 長期間使用しない時は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。
水漏れなどの事故の原因になります。

施工について

適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	85℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。
設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。
- 誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

施工について

施工前のご注意

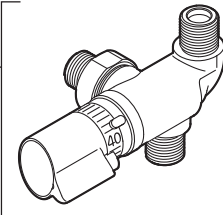
- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

施工について

梱包明細

- 本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1

サーモ継手 ×1



ストレーナパッキン ×2



座金 ×1



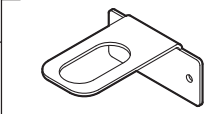
ロックナット ×1



トラスタッピンねじ ×2



ブラケット ×1



- 通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

施工について

施工手順

主な工具類

■ スパナ・モンキーレンチなど：
水栓のナットが回せる工具。



SANEI品番：
PR3350
(水栓スパナ)

■ 手袋：
ケガ防止のために着用してください。



■ 使い古しのハブラシなど：
配管掃除ができるもの。



■ タオルなど：
ケガ防止や水栓保護のために使用します。

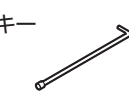


■ ぞうきんなど：
配管中の残り水を拭くのに使用します。



元栓がキー式の場合に必要な工具

■ 止水栓キー



ブラケットを取付ける場合に必要の工具

■ プラスドライバ



■ 電動ドリル



1 配管内の掃除をします。

⚠ 注意

❗

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。
(元栓の開閉は下記を参照してください。)

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、
この場合には有償修理となります。

●元栓を閉めて、水を止める方法

- 元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。
※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
※一部の地域では左回しの場合があります。
※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■ 戸建て住宅などの元栓ボックス：

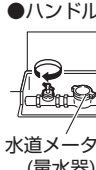
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。
古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

●キー式



止水栓キー

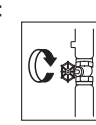
●ハンドル式

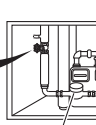


水道メーター（量水器）

■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。
お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。

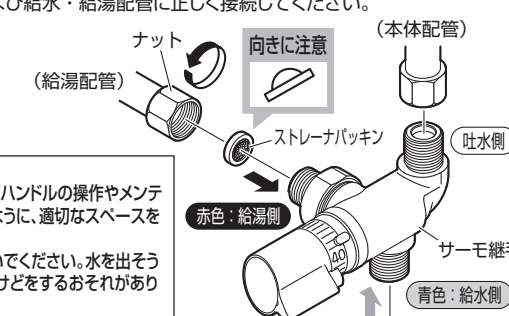




水道メーター（量水器）

2 サーモ継手を水栓本体、および給水・給湯配管に接続します。

サーモ継手の目印を確認し、**赤色：給湯側** **青色：給水側** になるように、本体配管、および給水・給湯配管に正しく接続してください。



（本体配管）

吐水側

青色：給水側

向きに注意

向きに注意

ストレーナパッキン

袋ナット

●必要に応じて、給水側や吐水側にブラケットを取付けてください。

ブラケット

トラススタッピンねじ

座金

ロックナット

（給水配管）

ナット

⚠ 注意

●接続の際は、温度調節ハンドルの操作やメンテナンスに支障がないように、適切なスペースを確保してください。

●湯水を逆に配管しないでください。水を出そうとしても湯が出て、やけどをするおそれがあります。

●吐水側に給水・給湯配管を接続しないでください。正常に作動しないため、やけど・故障の原因になります。

●ストレーナパッキンの向きに注意してください。

●給湯側の配管を接続する際は、サーモ継手の袋ナットを工具などで持たないでください。工具などで力を加えると、袋ナットがはずれ、漏水の原因になります。

●給水・給湯配管側のナットを締める際は、ゆるみがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。

●湯側にブラケットを取付けないでください。故障や水漏れの原因になります。

●ブラケットの取付面に厚みがない場合や、弱い場合は補強材などを設けてください。

3 水漏れ・ガタツキチェックをします。

接続後、各部にガタツキがないか必ず確認してください。
ガタツキの確認後、元栓を開いて各部に水漏れがないか必ず確認してください。
水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。

ご使用について

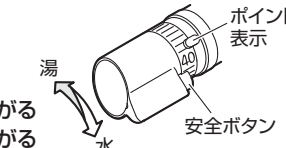
温度調節

- 給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度は、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃設定をおすすめします。
- 給湯機の設定温度が優先されるため、設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。
- ※本製品はやけど防止のため、安全ボタンを押してH最大まで回しても水が混ざる構造となっており、H最大まで回しても給湯機の設定温度より低温の湯が出ます。
- 設定・調整作業は承っておりますが、有料作業となります。
(作業費として、「技術料」+「部品代」+「出張料」を請求させていただきます。)
実作業を伴わずに復旧した場合は、「出張料」のみの請求となります。

温度調節

目盛をポイント表示に合わせる。
数字は温度の目安としてご使用ください。

ハンドルを時計回りに回す ➡ 温度が下がる
ハンドルを反時計回りに回す ➡ 温度が上がる



ポイント表示

湯

水

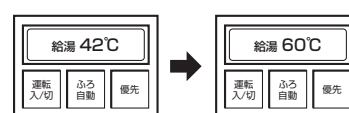
安全ボタン

⚠ 注意

●安全ボタンを押さずに回すと器具を破損するおそれがあります。

●高温の湯を使用した後は必ず、温度調節ハンドルを40以下に戻してしばらく水を流してください。

※安全ボタンを押して温度調節ハンドルを回しても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を50～60℃に設定した後、水栓側の温度調節ハンドルをH側へ回してください。



給湯 42℃

運転入/切

ふろ自動

優先

給湯 60℃

運転入/切

ふろ自動

優先

ご使用について

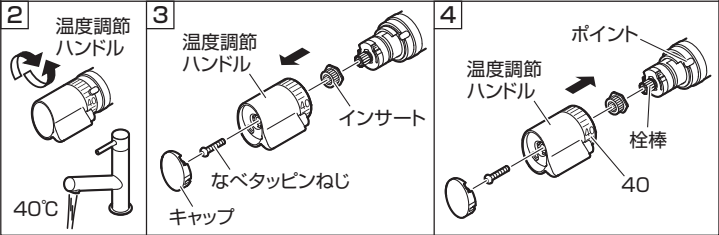
流量調節(止水栓がある場合)

- 止水栓がある場合、ハンドルを回す事により流量を調節したり、配管からの水を止める事ができます。
- 【ハンドル式】
流量が多くなる
- 【ドライバース式】
マイナスドライバなど
流量が少なくなる

ご使用について 温度調節ハンドルの設定

温度調節部は工場出荷前に調整済ですが、取付現場の圧力、給湯温度などの条件により目盛と異なる温度の混合水が出る事があります。このような場合は下記の設定を行ってください。

- 1 給湯機の給湯温度を設定します。
給湯温度の設定については「温度調節」を参照してください。
 - 2 温度調節ハンドルの目盛と関係なく吐水温度が適温(およそ40℃)になるように回します。
 - 3 吐水温度が適温(およそ40℃)になる位置で温度調節ハンドルをはずします。
 - 4 目盛の40の文字と温度表示リングのポイントを合わせて、温度調節ハンドルを取付けます。
- (注) ●キャップを取りはずす際は、工具などで製品に傷がつかないよう、注意してください。(例：細い工具などにテープを巻いて取りはずす。)
- 部品をなくさないように注意してください。
 - 目盛・数字とも目安としてご使用ください。
 - 温度調節ハンドルを取付ける時、栓棒を回さないようにしてください。
 - 温度調節ハンドル取付け後、温度調節ハンドルを水側へ全開に回し、給湯機が着火しないことを確認してください。着火する場合は、吐水温度を下げて再度、温度調節ハンドルを取付けてください。



ご使用について 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。
 - 配管部などに保温材を巻いてください。
 - 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

●柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
●汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意

- 中性洗剤以外は使用しないでください。
- お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。
 - ・酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
 - ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
 - ・ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
 - ・クレンジーなどの粒子の粗い洗剤
 - ・ナイロンたわし・メラミフォームなど

製品の割れや変色変質の原因となります。

! 洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。製品の割れや変色変質の原因となります。

日頃のお手入れ ストレーナの掃除

ストレーナの汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- 1 止水栓または配管中の元栓を閉めます。
- 2 給水・給湯配管側のナットをゆるめ、サーモ継手をはずします。
- 3 ハブラシなどでパッキン・網部分を掃除します。

⚠ 注意

- サーモ継手の金属部は高温になっている可能性がありますので、やけどに十分ご注意ください。
- ストレーナパッキンの向きに注意してください。
- 給湯側の配管をゆるめたり、袋ナットを締める際は、サーモ継手の袋ナットを工具などで持たないでください。工具などで力を加えると、袋ナットがはずれ、漏水の原因になります。
- 給水・給湯配管側のナットを締める際は、ゆるみがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。

再使用時

ナットが確実に閉まっているか確認してください。

定期的な点検 可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、ゴミ・ホコリなどの付着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」を参照し、修理をご依頼ください。点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどき下記の可動部分を動かしてください。(月1回を目安)

- ・温度調節ハンドル

定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

- 定期的に、配管周りの水漏れや、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)
- 漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。修理の依頼をされる場合は「保証とアフターサービス」を参照してください。

定期的な部品交換 逆止弁の交換時期

逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

※交換時期は、使用環境などにより異なります。
※逆止弁の交換を依頼される場合は「保証とアフターサービス」を参照してください。

こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量が 少ない	止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。 参照：「流量調節」
	ゴミづまりはありませんか。	ストレーナの掃除をする。 参照：「ストレーナの掃除」
高温しか でない	水側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。 参照：「流量調節」
	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。 参照：「温度調節」
低温しか でない	湯側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。 参照：「流量調節」
	湯側・水側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。 参照：「流量調節」
温度調節 がうまく できない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。 参照：「温度調節」
	ゴミづまりはありませんか。	ストレーナの掃除をする。 参照：「ストレーナの掃除」
	温度調節ハンドルの設定は合っていますか。	温度調節ハンドルの設定を確認する。 参照：「温度調節」

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

止水栓の閉め方

カウンター下に止水栓がある場合、ハンドルをまわして水を止めてください。

元栓の閉め方

元栓ボックス(メーターボックス)のふたを開け、元栓を閉めます。(元栓の場所や操作方法がわからない場合は水道局にお問い合わせください。)

こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

U11-22X3

1. ストレーナパッキン
2. 表示リング(赤)
3. 逆止弁コア
4. 銅
5. サーモカートリッジ
6. 温調プッシング
7. 温調表示リング
8. インサート
9. 温調ハンドル
10. なべタッピンねじ
11. キャップ
12. 表示リング(青)
13. ブラケット
14. トラスタッピンねじ
15. 座金
16. ロックナット

保証とアフターサービス

- 〔保証について〕
- この製品は保証書の内容に従って保証されています。お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
 - 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。
 - 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3～5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

お客様による日常のお手入れ・点検

摩耗劣化部品の交換

買替えご検討

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。
摩耗劣化部品の例
サーモカートリッジ(温調バルブ)・逆止弁(逆流防止弁)・ハンドル・ストレーナ・パッキン・オリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。部品の詳細については「本製品の構造」を参照してくい。

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ(お取付け)年月日
 - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
 - 訪問希望日

品番を確認するには、サーモ継手のナット部側面に貼付のシールをご確認ください。

(例)

品番	U11-22X3
製造番号	1234567890 G

- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)
- 「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。ご不明な場合は最寄りの当社営業所へお問合せください。

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。	
保証期間	対象部品	期間(お買上げ日/お取付け日から)
	本体	1年
お買上げ日(お取付け日)	年 月 日	
お客様	お名前	様
	ご住所	
	電話	()
販売店 工事店	店名	住所
	電話	()

<無料修理規定>

ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
 2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
 3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - (2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - (3) お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - (7) 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - (8) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - (9) 海岸付近、温泉水などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - (12) 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - (13) 本書の提示がない場合
 - (14) 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
- ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問い合わせください。
- ★ 補修部品の保有期間についてご不明の場合は下記へお問い合わせください。

S A N E I 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

お問い合わせ先 ☎ 0120-06-9721
受付時間 9：00～17：00 (土日祝除く)

ホームページ www.sanei.ltd